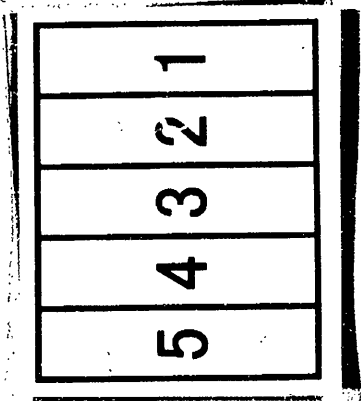


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



國際聯盟ニ於ケル次回軍縮準備委員會ニ對スル對策ノ研究

昭和五年三月一日  
參謀本部第二部

議題

第三回委員會決定事項

第六回委員會決定事項

討論少將意見要旨

訓令案

人員

在野兵制  
問題  
限問題  
保セリ

本委員會ニ於テ德國ハ左ノ要旨ノ修正案ヲ出セリ

本問題本次回ノ議題トナルハ

在野兵制ハ飽迄反對ヲ要ス

員

年度徵集  
人員及服役  
年限問題  
問題

徵兵國ノ年度徵集法ノ服スハ  
キ勤務總期間ハ各國カ本會議ニ  
於テ受諾スルキ数字ヲ超エザルコ  
トヲ義務總期間ハ現役日數及教育  
召集期間日數ノ總計ヲ以テ表ス

本委員會ニ於テ各國カ受  
諾セル数字ヲ超エザルコトヲ  
義務總期間ハ現役日數ト教育召集  
日數ト總計ヲ以テ表ハシ現  
役日數ハ区分ニテ表ス

本問題本次回ノ議題トナルハ  
勤務總期間ハ第三回委員會ニ決  
定アルヲ以テ問題ナキニシテ  
年度徵集法ノ制限ノ問題ハ研  
究ヲ要ス

ハ各國ノ徵兵力ヲ決定セハ年度  
徵集法ノ數ニ自ラ制限ラ受メ  
ク又實際ニ於テ平均日數  
表示スルコトニヨリ公平ニ其日  
約ヲ達成シ得ラルヘシ南シテ數  
ヲ制限スルコトハ例ハ八補充兵  
召集シ又八補充兵輪卒ノ如ク五期  
又ハ四期ニ入營セシムル結果徵集  
壯丁數ヲ著シク増加スルノ形トナ  
ル帝國陸軍ノ如キニ取リテハ極  
メテ不利ナルヲ以テ削除スルコト  
ト現役日數ヲ已別スルコトハ差又  
ハ其天ナシ秋國ニ於テハ兵役年  
限短シト共ニ兵役ヲ廢止スル  
シツタリ

制

軍隊的組  
織團體ノ  
制限問題

軍隊的組織團體ニ屬スル兵力ハ  
一般軍隊トハ別個ニ制限スルコト  
決定シテアリ

軍隊的組織團體ヲ制限スルハ  
トハ前同ニ全シ

米國ニ對シテハ制限外トスルコトヲ  
許スルニ於テ露國ハゲヘウレ又ハ支那  
軍隊ノ一部等モ同様ノ要求ヲナスニ  
至ルヘシ

米國ノ陸境軍ヲ制限スルコトハ政  
治的ニ困難ナランモ軍事上ハ之  
ヲ要求シ得ヘキヲ以テ本會議ニ於  
テハ免セ角モ準備會議ニ於テハ之  
ク迄制限ヲ主張セザラシ度

限

人員ノ領  
土の制限

陸軍  
本國駐在最大員數  
本國駐在七海外領土軍最大員數  
本國駐在七總兵力最大員數  
總兵力ノ最大員數  
本國駐在七軍隊的組織團體兵  
力ノ最大員數

陸軍  
本國駐在七兵力最大員數  
海外領土駐在七兵力最大員數(本表ノ  
提出ハ各國隨意ニ)

本件ニ關シテ意見ナシ

本件ニ關シテ意見ナシ

陸軍  
本國駐在最大員數  
本國駐在七海外領土軍最大員數  
本國駐在七總兵力最大員數  
總兵力ノ最大員數  
本國駐在七軍隊的組織團體兵  
力ノ最大員數

陸軍  
本國駐在七兵力最大員數  
海外領土駐在七兵力最大員數(本表ノ  
提出ハ各國隨意ニ)

本件ニ關シテ意見ナシ

本件ニ關シテ意見ナシ

限	問	題	限
人員の制限	陸軍 1 本國軍最大員數 2 本國駐屯海外領土軍最大員數 3 本國駐屯總兵力最大員數 4 總兵力最大員數 5 本國駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 6 海外領土駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 海軍 1 兵力最大員數 2 軍隊の組織団体兵力最大員數 空軍 1 空軍最大員數 2 軍隊の組織団体兵力最大員數	陸軍 1 將校及下士最大員數 2 將校以外ニシテ徵兵國中ノ最長ノ勤務期間ヲ超過シテ現役勤務ニ服スルモノノ最大員數 3 徵兵國ニ於テ自國ノ現役年數ヲ超過セルモノノ前記年數ニ達セザルモノノ數ハ年度情報中ニ示表ス 海軍 1 將校以下ニテ合シタルモノノ最大員數 2 徵兵國中ノ最長勤務期間ヲ超過セルモノノ最大員數	陸軍 1 本國駐屯七兵力最大員數 2 海外領土駐屯七兵力最大員數(本表ノ提出ハ各國隨意ニ) 3 總兵力最大員數 4 本國駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 5 海外領土駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 海軍 1 兵力最大員數 2 前記年數ノ討議ハ延期 空軍 1 本國駐屯七兵力最大員數(本表提出ハ各國隨意ニ) 2 海外領土駐屯七兵力最大員數(左右) 3 總兵力最大員數 4 本國駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 5 海外領土駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數
器材の制限	陸軍 1 直接制限方式ヲ排除シ間接制限方式ニシテ之ヲ得ル能ハス 2 算式表ヲ採用スルコトニ決定ス 空軍 1 軍隊並軍隊の組織団体兵力中ノ飛行機及飛行艇ノ對シテ機數及總馬力及總容積(飛行機ノ機數ノ最大員數) 2 飛行機ノ對シテ機數及總馬力及總容積ヲ計算ス 3 飛行機ノ對シテ機數及總馬力及總容積ヲ計算ス 4 飛行機ノ對シテ機數及總馬力及總容積ヲ計算ス	陸軍 1 將校以下ニテ合シタルモノノ最大員數 2 徵兵國中ノ最長勤務期間ヲ超過セルモノノ最大員數	陸軍 1 本國駐屯七兵力最大員數 2 海外領土駐屯七兵力最大員數(本表ノ提出ハ各國隨意ニ) 3 總兵力最大員數 4 本國駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數 5 海外領土駐屯七軍隊の組織団体兵力最大員數
飛行機ノ總馬力ト機數ト飛行艇ノ總馬力ト機數ト			

<p>器材制限問題</p>	<p>兵器制限問題          獨逸兵器直接制限案ヲ出シ併          ハ手算ヨリ間接制限案ヲ出シ          モ決定ニ至ラス第ニ議案ニ讓ル          海軍          佛伊總噸數案ハ日英艦種別          案ト對立ニテ下ラス遂ニ第ニ議          案ニ讓ルコトナレリ          空軍          飛行機ハ總馬力ノ機數飛行船          ハ總馬力ノ總容積及機數ヨ          リ制限ス英佛獨逸ハ部保留ヨ          右ハ軍隊現用中ノモト軍隊的          組織團體ニ屬スルモトニ分テ最          大數ヲ制限ス          馬力ノ計算法容積ノ算定法          空軍ノ制限ハ民間航空ノ榮達ヲ          考慮ニ入レテ行フ(米獨保留ス)</p>	<p>民間航空制限問題</p>	<p>他國ニ於ケル民間航空ノ現狀ヲ考          慮シ軍用航空ノ制限ヲス(AD條)          國若クハ數國ノ軍用又ハ民間航          空ノ締約國ノ安全ニ對シ危險ヲ構          スル時ハ右事情ヲ別ニ定メ之ヲ從ヒ          常設軍縮委員會ニ通知ス(2D條)</p>	<p>軍縮監督機關問題</p>	<p>米伊等ハ如何ナル形式モト雖          實施監督ニ付テハ絶對反對無          ハ監督ハ軍縮條約ノ根幹ヲ爲ス          モノナレハ之ニシテ容ヒラレハ          條約締結ニ協力スル能ハスト          極言シ紛糾セシカ結局實施會          ナレハ通約條約適用除外例          等ヲ審議シ監督問題ハ討議          延期セリ</p>	<p>人員問題(決定)          會議年度終了後三月以内に</p>
<p>空軍器材</p>	<p>直接制限方式ヲ排除シ間接制          限方式ホ全會一致ヲ得ル能ハス          算公表法ヲ採用スルコト決定ス          空軍器材          軍隊並軍隊的組織團體現用          中ノ飛行機及飛行船ニ對シ機數          數及總馬力及總容積(飛行船          ノ機數)最大數          平均機馬力數ノ計算法          馬力ハ全機數ヨリ定ムヘキ計算法          ニヨリ計算ス          飛行船ノ容積ハ立方米ヲ以テ表          3.民間航空ノ制限          米獨ハ民間航空ノ實際ノ軍事的          價値ヲ生スル迄ハ之ヲ軍用ト認          ム能ハストテ反對シ日佛波希          等ハ制限ヲ主張シタルモ結局討          議ノ延期ニ決ス</p>	<p>獨逸ハ上記二條ノ削除ヲ提議シ          米國賛成シタルモ日佛波希等          ハ反對シ結局討議延期ナレ</p>	<p>本委員會ニ於テハ本問題ハ討          議ニ上ラサリシモ佛國ハ軍中情          報交換蒐集(四)條約解除及通          用ニ關スル紛爭ノ解決(四)條約連          反ノ場合トルヘキ措置ヲ非          盟國ニ關スル措置ヲ研究セシムヘ          機關ノ編成ヲ以テ満足スヘキコト          ヲ聲明セリ</p>	<p>前聯總會ニ於テ日英獨逸表          接合應器材ニ對シ行フヘキ又ハ          間接ニテ算出シ行フヘキ又ハ          西者ヲ併用スヘキヲ研究ヲ要          問題ヲ提起シ佛國ニ對シテ          國ハ依然チ軍用器材制限案ヲ          限スルヲ可トス          兵器制限案ハ本委員會ニ對          限ヲナスニ拘テ是等兵器ハ軍          固有ノ性質カ故ニ制限ヲ許サ          ルラ理由トシテ軍用器材ノ直          接制限案未出カルカコトナ          米獨ハ主表案ニ對シテ貯藏          器材制限可能論ヲ提起セシム          不利アリ之カ利益對シテ人更ニ研          究ヲ要アラシ          又大口火砲戰車ノ如ク純然チ          攻撃兵器ト見做シ之カ數量制限          又兵器ノ限制ハ本委員會ニ對          陸軍主要兵器ノ制式一定制          限ヲ行フカ如キ提案アリ之知          理論上ニ應理由アルヲ以テ之カ討          議研究ヲ要アラシ</p>	<p>次回委員會ニ於テ米獨ハ再ビ          記提議案ヲナスシ之ノ場合米獨          シテハ依然チ本條約ノ存置ヲ主張          スルヲ可トス          又妥協案トシテAD條ヲ削除シ          三カリテハ開國カ自ラ軍用大分決定          連ヲ考慮シ算定スルコトヲ採          スルコトトシ且2D條ヲ存置スル          案未出ツル場合アルヘシ本妥協案          ヨルモ略原案ニ等シキ効果ヲ收          得ルヲ以テ同意シ差支ナシトス          昨午九月聯總會ニ於テ          英國代表ハ條約監督及報告          ニ任セシムヘキ機關ノ設置ヲ要求          セリ          右ハ次回委員會問題トナレハ          大ナル機關ノ設置ニ從テ米獨          不同意ヲ主張スルニ當テ是          又上述ノ佛國ノ提案ニ對シテ          常設委員會ハ多數國ノ贊同得          ル公算少カラス          (1)ノ任務ニ服スル程度ノ機關          成シ差支ナシ(2)ハ佛國ノ具休案          研究ノ後可否ヲ決定スルヲ可トス</p>	<p>公報範圍          軍縮委員會ニ對シテ日英獨逸          項ハ各國ノ任務トスルヲ要ス</p>
<p>器材制限問題</p>	<p>器材ノ制限ニ關シテハ從來          ノ方針ニ據ラレ度</p>	<p>民間航空ニ關スルAD2D條共ニ          主張セラレ度大勢不利ナル場合          モ石ノ趣旨ニ對シテ如何カ          レ度</p>	<p>軍縮監督機關ニ從來通          反對セラルヘキ軍縮中          員會ニ關シテハ軍縮報告          集整理スル條約ノ執行          務トスル程度ノ機關ナルニ          アハ差支ナシ</p>	<p>軍縮監督機關問題</p>	<p>軍縮監督機關ニ從來通          反對セラルヘキ軍縮中          員會ニ關シテハ軍縮報告          集整理スル條約ノ執行          務トスル程度ノ機關ナルニ          アハ差支ナシ</p>	<p>軍縮監督機關問題</p>

<p>軍縮監督 機関問題</p>	<p>米伊等ハ如何ナル形式モトテ 實施監督ニ付テハ絶対反對ニ ハ監督ハ軍縮條約ノ根幹ヲ爲ス モノナレハ之レニミテ容テラレハ 條約締結ニ協力スル能ハスト 極言シ紛糾セシカ結局實施 ナレハ通報條約適用除外例 等ヲ審議ニ監督問題ハ討議 延期セリ</p>	<p>本委員会ニ於テハ本問題ハ討 議ニ上ラサリシニ佛國ハ軍 報交換惠集(四)條約解除及通 用ニ関スル紛争ノ解決(四)條約違 反ノ場合トルヘキ措置ヲ非 盟國ニ関スル措置ヲ研究セシム 一機關ノ編成ヲ以テ満足スヘキ ヲ聲明セリ</p>	<p>昨年九月聯軍會議ニ於テ 英國代表ハ條約ノ監督及報告 ニ任セシムヘキ機關ノ設置ヲ セリ 右ハ次回本委員会問題トシテハ 大ナル機關ノ設置ニ從テハ 不同意ヲ主張スルニ當リ 又上述ノ佛國ノ提案ニ對シテ 常設委員会ハ多數國ノ贊同ヲ ル公算少カラス (1)ノ任務ニ服スル程度ノ機關 成ニ差支ナシトシテハ佛國 研究ノ後可否ヲ決定スルコト</p>	<p>軍縮監督ハ從來ノ條約 反對セラルヘキ軍縮條約 員會ニ關シテハ軍縮條約 集整理スルハ條約ノ根幹 務トスル程度ノ機關ナルニ テハ差支ナシ</p>
<p>軍備公表問題 (報道交換)</p>	<p>一 人員ニ関スル事項(決定) 會計年度終了後三月以内ニ 軍隊及軍隊の組織団体人員ニ 關スル條約規定ノ各種表ヲ 聯盟事務局ニ提出スルコト 器材ニ関スル事項(和蘭案)決 定ヲ見ス 器材ヲ十二種ニ分類シ現用及 貯藏中ノモノノ數量ヲ公表 セントスルモノナリ 三 海軍ニ関スル事項(決定) 一 締約國カ非締約國ノ為軍 艦ヲ建造スル場合ノ公表規定 二 商船ニ武装ヲ施スノ準備ヲナ ス場合ノ公表規定 四 空軍ニ関スル事項 空軍器材ニ関スル公表規定(伊 國案ト佛國案) 民間航空機ノ公表規定 五 予算ニ関スル事項 陸海空軍費ノ公表方式 現會計年度予算ノ公表 前年度支出ノ公表</p>	<p>討議ナシ</p>	<p>○公表ノ範圍 軍備ノ項目ト一致セシメ細部ノ事 項ハ各國ノ任務トスル如ク表 可トス ○公表ノ時期 會計年度終了後二月ハ我國ニ 於テ可能ナリヤ ○器材公表ハ和蘭案提出セラレ テ我國ハ佛國ト一致スルコト 露獨ハ京案ヲ支持スルコト セラルコレニ對シテハ和蘭案ヲ 削除スル案、予算公表案、 純攻撃兵器ノ數量公表案、 器材公表案等、各種案、 器材制限法、各種案、 屬スル公表ヲ行フハハ 空軍器材ノ公表ノ範圍ハ 二同盟國ニ差支 夫レ切斷セシ 本行ニ關シテハ我國若シ 竹範圍ヲ軍備制限 ハトトラ主張スル 航空機制限外ナル 航空ノ公表ヲ強 進ナレハ大勢 予算公表ノ方式ハ 方式ト全ク異リ 機ヲ見テ每審議 スルモ兩者共ニ同意 又公表時期ハ各 スルコト</p>	<p>軍備公表問題ハ從來ノ訓 令ニ據リ處理セラレ度</p>
<p>除外例ノ問題</p>	<p>本條約適用除外例トシテ英國案 佛國案ノ二種ヲ掲ゲタリ 英案ハ戰爭内乱ノ外締約國 在ル場合ニモ及ホサントスルモノ 佛案ハ軍ニ侵略ヲ受ケタル場合 ノみに限ラントスルモノナリ 結局決定ヲ見ス討議延期トセリ</p>	<p>討議ナシ</p>	<p>西案共通適用ト認め難ク軍ニ關 事ニ加入シ或ハ戰爭ニ加入セザル ラスト認めタル時ハ自自由 許シ事故止メハ トイフカキ主義トスルコト セスヤ</p>	<p>適宜処置セラレ度</p>

<p>除外例ノ問題</p>	<p>條約違反問題</p>	<p>化學戰問題</p>
<p>本條約適用除外例トシテ英國案 佛國案ノ二種ヲ掲ケタリ 英案ハ戰爭内乱ノ外締約當時 子見テサリシ特殊ノ情勢ニ 在ル場合ニモ及ボサントスルモ 佛案ハ單ニ侵略ヲ受ケタル場合 ノ限ラントスルモノナリ 結局決定ヲ見ス討議延期トナリ</p>	<p>一 條約違反ニ對スル処置 二 本件ニ関シテモ英案佛案ノ 二種掲ケタリ 三 條約違反ノ審査 三 民間航空飛達ニ對スル処置</p>	<p>本件ニ関シテハ條約案六白、波、 塞、羅、智五國ノ提案掲ケラ レアルモ何等審議ヲ見サキキ</p>
<p>四 空軍ニ関スル事項 空軍器材ニ関スル公法規定(伊 國案ト佛國案) 民間航空ノ公法規定 五 予算ニ関スル事項 陸海空軍費ノ公表方式 現會計年度予算ノ公表 前年度支出ノ公表</p>	<p>討議ナシ</p>	<p>化學戰ニ関スル問題 一九三五年議定書第一第三項ヲ 其條約案中心ニ存置スルコト トナシ (註)右議定書ハ窒息性、毒性 又ハ其他ノ瓦斯及一切ノ類 似ノ液体材料又ハ考案ヲ 戰爭ニ使用スルコトヲ禁 止シ右禁止ヲ細菌使用 ノ戰爭方式ニ迄擴張スル コトヲ協定セルモノニシテ 本會議ニ於テハ其第三項 タル毒瓦斯ノ使用禁止ヲ 相互主義トシ第一第二項 細菌使用禁止ヲ絶対 主義トナセリ</p>
<p>西安共通當ト認メ難ク單ニ戰 争ニ加入シ或ハ戰爭ニ加入セザルハカ ラスト認メタル時ハ増大ノ自由ヲ 許シ事故止メハ四ニ復スルヲ要ス トイフカ如キ主義トスルヲ可ト セシヤ</p>	<p>一 大体左如クスルヲ可ト思フ 自國ノ安全カ實質的ニ保障 セラレタリト認ムルハ戰事 局ヲ介シ軍備縮小ヲ主張スル 許ハ同委員會ハ善報ニヨリ之 ヲ調査シ事務局ニ報告ス 二 八削除ヲ可トス 三 八存置ヲ可トス</p>	<p>本件ニ関シテ意見ナシ</p>
<p>適宜処置セラレ度</p>	<p>適宜処置セラレ度</p>	<p>適宜処置セラレ度</p>



列	備	頁
<p>上項諸事、不覺無事、故其情重、是人員亦、</p> <p>人員、亦、不、覺、無、事、故、其、情、重、是、人、員、亦、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>
<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>
<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>	<p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p> <p>海軍部、海軍大臣、海軍部、海軍大臣、</p>